

「子どもプラン」とSDGs(エスティージーズ)

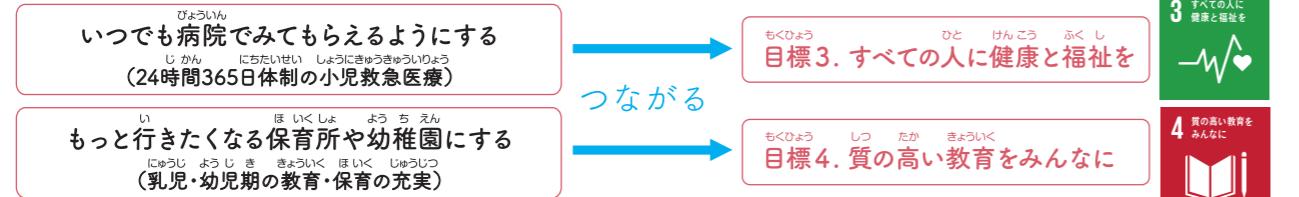
「SDGs」は、将来(2030年)に向けて、地球上で暮らすすべての人たちが、ずっと幸せに生活していけるようになると、世界中の国が約束した目標のこと、「Sustainable(サステナブル) Development(ディベロップメント) Goals(ゴールズ)=持続可能な開発目標」と訳します。

「持続可能な」とは、将来に向けていい状態で続けることができるような、という意味です。
「開発」とは、「都市開発」「研究開発」というような「開発」の意味のほかに、今よりもっといい形に変わること、変えていく取り組みのことも表しています。

世界中の人々が、この目標(17個の目標があります)に向けて、取り組みを進めています。
北九州市が「子どもプラン」で目指す「子どもたちの未来を育み、みんなの笑顔があふれるまち」は、SDGsの目指す世界の姿につながっています。

「子どもプランとSDGsのつながり(例)

「子どもプランの取り組み



SDGsの17の目標



みんなの意見で、この「子どもプラン」ができました

「子どもプラン」が決まる前に、いろんな人から意見をいただきました。子どもたちからも、たくさん意見をいただきました。ありがとうございました。

「子どもプラン」で募集したみんなの意見とその返事は、ホームページで見ることができます。



元気発進! 子どもプラン

第3次計画

令和元年11月策定【子ども向け概要版】

北九州市子ども家庭局子ども家庭部総務企画課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL 093-582-2280

元気発進! 子どもプラン

第3次計画

— 令和2~6年度 —



北九州市

「子どもプラン」ってなに?

北九州市が、子どもたちのため、子育てをする人たちのため、これから「どうすることをしていくか」をまとめたものが「子どもプラン」です。
学校のことについては、別に「教育プラン*」があります。
※第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン(令和元年8月 北九州市教育委員会)

北九州市が「子どもプラン」で目指す姿

北九州市が「子どもプラン」で目指す姿を次のように決めました。

子どもたちの未来を育み、みんなの笑顔があふれるまち北九州

～「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指して～

「未来」と「笑顔」がキーワードです。

未来
子どもたちが夢や希望を持ち続け、あきらめることなく目標を歩んでいけるよう支援します。

笑顔
子どもの笑顔は、すべての人を笑顔にします。子どもたちの笑顔を広げ、みんなが笑顔になるまちをつくります。

この「未来」と「笑顔」を大切にするため、次の4つのこと大事にしていきます。

1 子どもが主役であり、子どもの権利*を大切にしていくこと。

2 すべての子どもと家庭をしっかりと支えること。

3 子どもの成長と子育てを切れ目なく支えていくこと。

4 地域の人や学校の先生、会社の人、市役所の人など、北九州市の大人たちみんなで、子どもや家庭を見守ること。

子どもの権利について

1989年、ユニセフなどの国際機関や世界の国々が協力して、世界のすべての子どもが持つ権利を定めた「子どもの権利条約」を作り、ここに書かれた子どもの権利を守っていこうと約束しました。

日本も1994年にこの約束に入りました。

「子どもの権利条約」には、大きく分けて次の4つの権利があるとされています。

1. 生きる権利

2. 育つ権利

3. 守られる権利

4. 参加する権利

北九州市が「子どもプラン」で具体的に取り組むこと

目標 1

安心して子どもを生んで、育てられるまちにします!



- 生まれてくる赤ちゃんを、お父さん・お母さんが安心してむかえられるように、保健師や病院の先生にいつでも相談できるようにします。
- 赤ちゃんのお世話をできるように、ミルクのあげ方やお風呂の入れ方などを学べる場所をつくります。
- 熱が出たり、けがをしたりしても、いつでも病院でみてもらえるようにします。

目標 2

子どもの「やりたい」を応援するまちにします!

- もっと行きたくなる保育所や幼稚園にします。
 - 放課後児童クラブをもっと楽しく、過ごしやすい場所にします。
 - 公園やプレイパーク*など、自然の中でのびのび遊んだり、いろいろな年の子ども遊んだりできる場所を増やします。
- *プレイパークとは、子どもたちが自然に触れ、いろいろな人と関わりながら自分たちで遊びを作り出す「そとあそびの場」のことです。
- 子どもの権利について、子どもも大人も勉強して、みんなで守るようにします。
 - いじめがおこったり、不登校になったときに、すぐ相談できるようにします。
 - キャンプやボランティア活動など、いろいろな体験ができるようにします。
 - 新しいプラネタリウムのある、わくわくする科学館をつくります。
 - 悪いことにまきこまれないように、近所の大人の人が守ってくれるようにします。



目標3

困っている子どもや家庭を しっかりと支えるまちにします!

- いろいろな理由で、親子でいっしょにくらせなくとも、親の代わりになる人と安心して過ごせるようにします。
- 児童虐待※がおこらないように、市内のすべての人が協力して見守ります。
もし児童虐待がおきても、すぐにみつけて助けられるようにします。
※児童虐待とは、大人が、力の暴力や言葉の暴力で、子どもの体や心を傷つけたり、ご飯や洗たくの世話をしなかったりすることなどです。
- 障害のある子もない子も、たくさんの友達といっしょに成長できるようにします。
- 家族の形は色々です。家族がかかえる悩みをしっかり理解し、支えるようにします。



目標4

楽しく子育てできる まちにします!

- お出かけしたとき、赤ちゃんにミルクをあげたり、おむつを替えたりできる場所を増やします。
- 親子で集まってお話しできる場所を増やします。
- お父さん・お母さんの子育てを応援してくれる人や、手伝ってくれる人を増やします。
- 困っているお父さん・お母さんが相談できる場所や、子育てを勉強できる場所を作ります。
- 仕事をしているお父さん・お母さんが、子どもといっしょに過ごせる時間を増やすよう、働き方を変えていきます。



目標5

子どもが安全・安心に暮らせる まちにします!

- 昼も夜も安全に歩ける道を増やします。
- お家から危ないものをなくして、赤ちゃんが安全に過ごせるようにします。
- 安心して学校に行けるように、みんなで通学路を見守ります。
- 災害があった時でも、安心して過ごせるようにします。

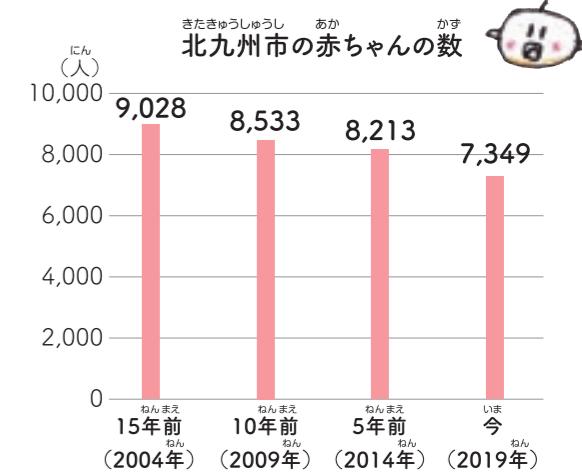


資料

数字で見る北九州市

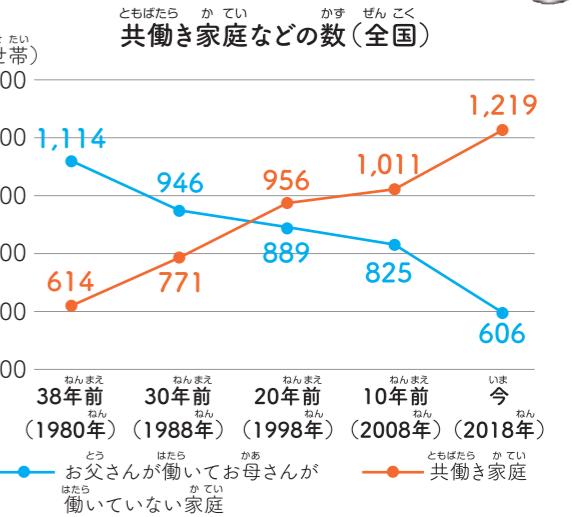
赤ちゃんの数

北九州市で生まれる赤ちゃんは減っています。これを少子化といいます。少子化が進むと、例えば、クラスの人数が減って、たくさんのお友達と遊ぶことが難しくなったり、お家の近くにいるお友達が少なくなったりします。



家族のかたち、ご近所づきあい

昭和、平成、令和と時代が変わっていくにつれて、家族のかたち、ご近所づきあいも変わってきた。例えば、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に暮らすお家は減っています。また、お父さん・お母さんの両方が仕事をしているお家（「共働き家庭」と言います。）が増えて、昼間に近所の人と顔を合わせてお話しするようなことも減ってきています。



子どもが希望すること(北九州市が行ったアンケート調査の結果)

		希望すること		
		小学生 (高学年)	中学・ 高校生	注: 複数回答
1位	公園などで安全に安心して遊びたい	56.1%		
2位	放課後や休みの日に、遊びや勉強ができる場所がほしい	53.4%		
3位	安心して過ごせる家や、安全に歩ける道がほしい	31.8%		
1位	勉強や進路、就業について気軽に相談できる場所がほしい	44.8%		
2位	放課後や休みの日に、遊びや勉強ができる場所がほしい	35.6%		
3位	安心して過ごせる家や、安全に歩ける道がほしい	30.4%		



いま み らい え がお
きみの“今”と“未来”を笑顔にします!

子どもプラン すごろく



あか 赤ちゃんに会える日が
たの 楽しみ! でも…うまく
こそ 子育てできるかな?



スタート!!

あん しん こ 安心して子どもを生んで育てられる
まちにします!

う 生まれた後の
あか 赤ちゃんのことを
あと いしゃ お医者さんが
おし 教えてくれるよ。

こ 子どもの「やりたい」を
おう えん 応援します!

い もっと行きたくなる
ほいくしょ 保育所や幼稚園に
よう ちえん していくよ。



こ 困っていともしっかり支えます!

おや こ 親子で暮らせなくとも、
く 代わりになる人と
ひと 安心して
す 過ごせるよ。

あと な 大人からの暴力で、心も体も
ほりょく こころ からだ 傷つかないように、守るよ。
まわ 周りで傷ついている
こ 予がいたら、大人に
つた 伝えよう。

こ 子どもが安全・安心に

く 暮らせるまちにします!

がっこう 学校でいやなことが
あつたりして、学校に
い 行きたくない時でも、
そ ぐに相談
できるよ。



スマートフォンの
あんぜん つか かた 安全な使い方を
いっしょに
み 身につけよう。



わる 悪いことにまきこまれない
よ うに、大人が協力して
み まも 見守るよ。



たの 楽しく子育てできるまちにします!

で お出かけしたとき、
あか 赤ちゃんにミルクを
あげたり、おむつを
か 替えたりできる場所
は しょ がたくさんあるよ。



ひょうき 病気になんでも
いつでも いしゃ お医者さんが
みてくれるよ。



ママ・パパが
たの 楽しくお話しし、
とも 友だちを増やせる
い 場所に行こう。



ママ・パパを応援する人が
たくさんいるよ。
こま 困っている時に相談できる
ば しょ 場所もあるよ。



ほうか じどう 放課後児童クラブや
こうえん たの す 公園で楽しく過ごそう。

あんせん ある みち 安全に歩ける道を
ふ 増やしていくよ。
つうがくろ おとな 通学路は大人が
み まも 見守るよ。

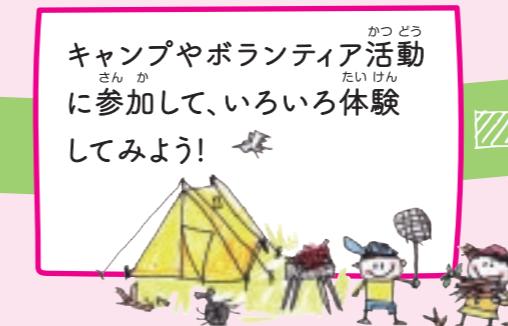
し こと 仕事をしているママ・パパが、
こ 子どもといっしょに過ごせる
じ かん ふ 時間を増やすよう、
はたら かた が 働き方を変えて
いくよ。



しょうがい 障害のある子もない子も、
こ どんな家庭も、
こ みんな笑顔にするよ。



さい がい とき 災害の時でも、
あんしん ふ 安心して
す 過ごせる避難所を
ひなんしょ 用意するよ。



かつどう キャンプやボランティア活動
さんか に参加して、いろいろ体験
たいけん してみよう!

み ちか 身近なふしげや
う ちゅう 宇宙のことまで
か がく 科学の「なぜ?どうして?」を
あたら か がく かん 新しい科学館で
たの まな 楽しく学ぼう!



ゴール!!

